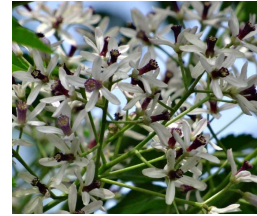


学校だより

『認めて、褒めて、励まして、信じて、待って、見届ける』



東校門の
センダンの
の花

児童昇降口には、下のような詩が貼ってあります。これは長野県の円福寺住職で、戦災孤児やアジア難民の救済などに尽くした藤本幸邦さん（1919~2009）が、曹洞宗の開祖である道元の『却下照顧（きゃかしょうこ）』（「自分の足元を見よ。自分の行いを見よ」の意味）という教えを、子供たちにわかりやすく説明するために作ったものです。

はきものをそろえると 心もそろろう
心がそろろうと はきものもそろろう
ぬぐとときに そろえておくと
はくときに 心がみだれない
だれかが みだしておいたら
だまって そろえてあげよう
そうすれば きっと
世の中の人々の心も そろうでしょう

藤本さんによれば、「人間が人間として修行していくには、心から修行する方法と、形から修行する方法がある。心から修行できるのはよほどできた人で、私たちのような凡人は形の方から入っていくことによって、しだいに心の方も整ってくることになる。」と。

さて、登校している様子を毎朝観察していると、子供たちは靴箱に入れるときに、かかとを靴箱の端の所にそろえています。靴がそろえてあるととても気持ちのいいものです。



5年生の靴箱です

きっと自宅の玄関で靴を脱いだときもきちんとそろえているし、家族の方の靴もそろっていることと推察されます。

ところで、最後の「世界の人々の心も そろうでしょう」は、難しいのかなと思っていたら、サッカーワールドカップで日本人サポーターが、試合終了後スタジアムのごみ拾いをしたことが、世界中から絶賛されていました。吉田東小の子供たちも将来が楽しみです。



楽しみな読み語り



11日（水）今年2回目となる読み聞かせボランティア『らこんて』による読み語りがありました。



2年生は、「いちにちぶんぼうぐ」と「バナナのはなし」でした

メンバーは、山口まゆみさん（1年担当）、大関美香さん（同2年）、松本有幸さん（同3年）、岡部章子さん（同4年）、内田雅智さん（同5年）、久野千鶴子さん（同6年）の6名で、1年間同じ担当者が本を読んでもいただきます。

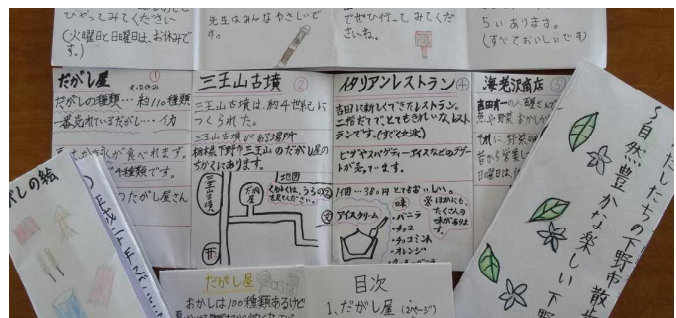
今回は、それぞれの担当者が選んだ本を1~2冊読んだあと、学年ごと担当者の方と一緒に記念写真を撮りました。

1年間よろしく
お願いいたします。



6年生が国語の時間に、3人ずつのグループに分かれ、地域にあるお店や自分たちの好きな場所、文化財や自然などを紹介するパンフレット作りに挑戦しました。

子供たちの視点でそれぞれの場所を調べ、気がついたことやおすすめのもの、特長などを絵や文でわかりやすく表現していました。





県民の日 (6/15) & 創立記念日 (6/1)

〇×クイズ



13日(金)に県民の日集会を行いました。

最初に県民の歌を全員で合唱した後、栃木県と学校に関する〇×クイズを行いました。

「栃木県の鳥はオオルリである→〇」、「栃木県の県庁は最初から今の宇都宮市にあった→×」、「本校の児童数で、1番多いときは約600人いた→〇」など10問出題しました。

子供たちはよく考え、時には勘に頼りながら、正解不正解に一喜一憂していました。



5月31日(土)PTA主催によるインディアナ大会を行いました。

児童チームも含めて12チームが参加しました。夜などに集まって練習した成果が十分発揮され、熱戦が繰り広げられました。

優勝は、塚越・磯部チーム、準優勝は、三王山・箕輪チームでした。

2日(月)地震が起きて、その後火災が発生したことを想定して避難訓練を行いました。

全員机の下に隠れた後、校庭の南側まで逃げました。いつ起きるかわ



からない災害に対して、真剣に取り組んでいます。



3日(火)3年生が社会科見学で、南河内図書館や中央公民館、ふれあい館の他、自治医大駅周辺の見学に行きました。

公共施設の役割や土地利用の仕方、市内の自然や道路の様子などを調べてきました。



5日(木)6年が社会科に行きました。下野薬師寺跡では五重塔の礎石跡や復元された回廊などを見学しました。歴史館では、下野薬師寺に関する紙芝居を見ながら説明を受けました。身近にある偉大な歴史にじかに触れることができました。

10日(火)2年生が生活科町探検で、セブンイレブン、吉田郵便局、東公民館などに行きました。

仕事の内容などを説明していただいた後、子供たちはいろいろな質問をしていました。また、吉田駐在所では、指紋の採取の仕方を興味深く聞いていました。

18日(水)の探検とともにま



め、1年生への発表会を予定しています。



27日(金)4年が社会科見学で下野市水道庁舎と県央浄化センター(上三川)に行きました。

水道庁舎では、井戸からくみ上げられた水が、各家庭の蛇口から出てくるまでのしくみを興味深く聞いていました。また、『水は限りある資源なので、大切にしなければ』と再認識していました。



3日(火)学校の池にいるカメが、隣の花壇の隅に卵を産みました。普段では乗り越えられないようなコンクリートの壁を越えて、後ろ足を交互に上手に使って穴を掘り、いくつかの卵を産んだ後、また土をかけていました。子ガメが生まれるか楽しみです。また、母ガメのたくましさを感じました。



